

ネ
ト
リ

ハ
マ
カ
ゼ



成人指定
ADULT ONLY



ハマカゼネトリ

今日は暑いなあ

提督
お水飲みますか？

ありがとう浜風
浜風は内地地は
初めてだろう？
海から離れて
不安とかは無いか？



そうですね：
ある程度力は制限
されますがそれでも
暴漢には負けませんよ

はははっ
頼もしいな

会議が終わったら
近くの町にでも
出かけようか
鎮守府のみんなに
土産も買おうな

はい提督
浜風がお供いたします！

大将閣下
お招きありがとうございます
ございます

少佐よく来てくれた
内陸は久しぶりだろう
ゆっくりしていきたまえ

こちら私の
秘書艦の浜風です

浜風、閣下にご挨拶を

浜風です
どうぞお見知りおきを…

ほお…
これが艦娘…

私は内陸務めが長いので
艦娘は詳しく知らないが
綺麗なお嬢さんじゃないか

大淀さんから
この基地の大將はあまり
いい噂を聞かないと聞いた…

提督の身を護る為にも
警戒を怠らないように
しないと

しかし私が側を離れた
ほんの僅かな間に
提督はスパイ容疑を
かけられ拘束
されてしまった

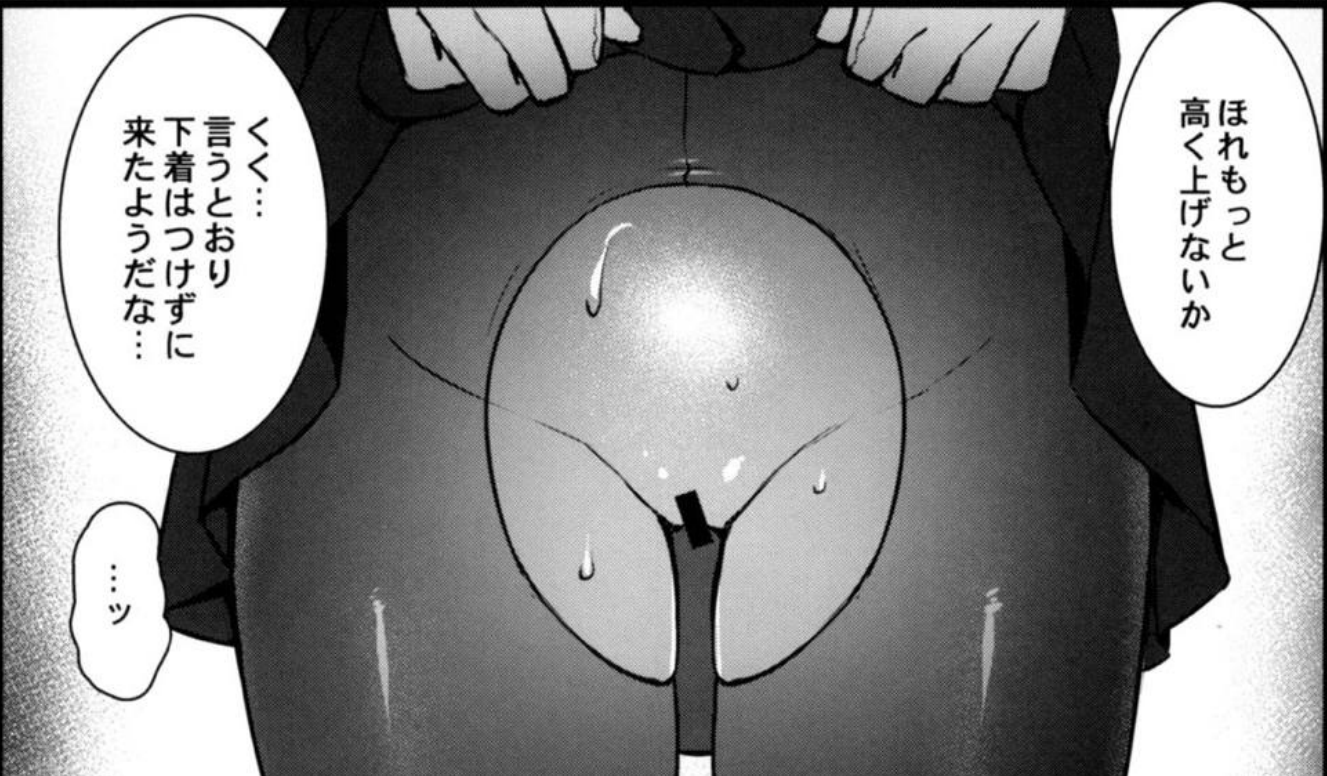
提督が深海棲艦の
スパイであることなど
ありえない

側にいた私が
一番よくわかっている

提督の身柄の安全が
確保できないうちに
鎮守府への連絡手段も絶たれ
八方塞がりになり…

大將は卑劣にも
提督を解放する条件として
ある要求をつきつけてきた

その要求とは――



ほれもっと
高く上げないか

くく…
言うとおりに
下着はつけずに
来たようだな…

…ッ

ワシの贈り物も
似合ってるじゃないか
実にいやらしい
光景だ

お前のスケベな
場所は提督には
見せてやったのか？

ッ…提督とは
まだ何も…

このような男に…
提督にも見せたことが
無いトコロを…

邪魔になりそうな若い芽を
潰そうと奴を呼び出したら
よい土産を持ってきて
くれたものだ

適当に取り調べ期間を
伸ばしてワシ専用の
肉奴隷としてじっくり
調教してやるとするか



ふう…
なかな
なかな
いい味だったぞ

浜風も
楽しめたようだなあ



それでは
準備もできたことだ

わしの深海棲艦の
遺伝子を移植した
自慢の主砲で
可愛がってやる

お口

!?

兵器としてではなく
女の悦びを教えてやる

提督…

こんなことになるなら
貴方に全てを
捧げていけばよかった…



ぬちゅ…



ほれよく
見ておかんか

お前を女にした
おちんぼ様が
挿入ってるぞ

初めてが
提督ではなくて
残念だったなあ

だが嘆く
ことはないぞ
雄に屈服する
気持ちよさを知ってしまったえば
あんな若造なぞどうでも
よくなる！

するうら

はっ！

あッ





痛みだけなら
耐えられるのに...

中をえぐられる度に
変な感覚が...

このちんぽから出る
分泌液は女にとって
媚薬効果もあってのう

精液を膈内に注入すれば
遺伝子ごと作り変え
雄の臭いや体液に
発情するように
してしまうのだ



それ膈内に
射精してやるぞ！
その身で人間様の
貴重な子種を
受け入れるんだ！

提督...ッ
浜風は...!





くうう…
絞りとられる…!!
初物のくせになんて
穴を持つてるんだ…ッ

抜くのも
一苦労だわい…!



提督…

わしの射精回数
は軽く30回は超えるぞ
まずは軽く抜かず
10回膣内射精してやろう



浜風がその気なら
このまま続けて
ハメ通してやろう

ゆるお〜

拘束されてから
もう10日…

尋問も
意味のない質問の
繰り返しで埒が
あかない…

浜風は
無事だろうか…

あの…浜風…
うちの秘書艦は…

ん？
ああ…

安心しろ
貴重な艦娘だ
悪いようには
なっていないさ

今頃大将閣下の
おもてなしを受けてる
頃だろうよ





わしがまだ
射精してないのに
またナカイキしおったな
この淫乱駆逐艦め

仕置に
浜風の大好きな
子宮をいじめてやるぞ



提督が拘束されて
10日...
処女を奪われてから
毎日休みなく受ける陵辱に
私の身体はすっかり
作り変えられてしまった

今日の燃料補給だ
存分に味わえ！

どろどろの
精液が喉に…

最初は嫌で
仕方なかった
この味も…

口から摂取すれば
より効果が高まるだろう

これだけ脳もマンコも
チンポ漬けにしてやっても
まだ正気でいられるのは
流石艦娘といったところかのう

今では美味しく
感じるよう
改造されてしまった…

そうして提督の身を
案じることしかできず



兵器ではなく
雌として使われる為
肉体の改造と調教を
受けるのみの日々

この頃には肉体は完全に
元帥に屈服してしまっていた…
快楽を刻み込まれる毎日に
それでも心だけは提督へと
ギリギリの均衡を
保っていた…

堕ちろ！
尻穴で轟沈
してしまえ！！



そのように
無為に貪られる
時間のみが
過ぎていき…

いつの間にか
一ヶ月が
経過していた…





この一ヶ月で
すっかりわし好みの
穴になったなあ

もう浜風の穴は
わし専用の肉オナホだ



うおお…ッ
今日10回目の
膣内射精ッ!!



やっと10回目…
今日だけで何度
イッてしまったか…

次はどこに
射精されるの…



浜風：
今までよくわしに
奉仕してくれた

君の頑張りに免じて
少佐は解放しよう

え…？

提督が…
解放…？

提督が解放されたら
この人に犯されずに
すむの…？

どうしたんだ
浜風？

君たちは自由なんだ
もっと喜んだら
どうなんだね？

それともなにかね？
このチンポと別れるのが
寂しいのか？

やっと提督と
鎮守府に帰れる…
そうすればもう
二度とコレを
ハメられることも…

提督…



申し訳ありません
提督…



浜風は
負けてしまいました



大事な男を放っておいて
他の男のチンポに跨り
腰を振るとはなんて
スケベな娘だ





今日は本気で
種付けしてやるぞ
艦娘だろうと確実に
妊娠させてやるからな！

提督...

尊敬する提督よりも
この方の与える快楽に
身を委ねた浜風を
許してください

この快楽を
失う生活に戻るなんて
考えられないのです...♡



は……

は……

提督……

ごめんなさい……



提督は
心配症ですね
浜風はなんとも
ありません



すまない浜風
ずっと独りに
してしまつて……

何もされて
いないか？



浜風！

大将殿にもすっかり
お世話になりました…

でも提督が
戻られて本当
よかったです…

はっ

はっ



はっ
はっ

浜風：
私も君が元気そうで
嬉しいよ

とはいえまだ容疑は晴れて
いないから暫くは
鎮守府とこの基地を
行き来することになる
浜風にも苦勞をかけるが
一緒に頑張ろう！

はい：
それでしたら
もう何人か助手を
付けませんか？

浦風や磯風：
人手も増えればきつと
大将も喜ばれますよ…
♥



ハマカゼ
ネトリ



—奥付—

2017.8.13・発行：姫屋

著者：阿部いのり

印刷会社：スズノウシャドウ

連絡先：inorin@himeya.sakura.ne.jp

<http://info.himeyaxxx.com/>

18歳未満の本の閲覧、所持本の無断転載、
複製、WEB上のアップロード禁止します



2017.himeya

ハマカゼネトリ